



◆清水区〓中学校などに救命胴衣配布 静岡市清水区の東海大翔洋高同窓会(有田知弘会長)は22

日、焼津市の企業から寄贈を受け、独自開発の救命胴衣100着を、同校中等部、清水南高中等部、清水第五中、東海大付属幼稚園に配布した。東海大翔洋高で贈呈式を行い、有田会長らが4校・園の代表者に救命胴衣を手渡した〓写真〓。

救命胴衣を開発、寄贈したのは焼津市の「岸萬塗装」(岸昌則代表取締役)。昨年、東日本大震災の被災地支援を続けた翔洋高に被災地から救命胴衣が贈られたのをきっかけに、同窓会は海に近い近隣学校にも設置しようと考え、より安価な製品の開発を同社に依頼した。完成した救命胴衣「PeB J(ペットボトルジャケット)」

は、使用済みペットボトルで浮力を得る。ジャケットの袋状部分に500㍓のペットボトルが最大で14本入る。今月から千円台前半で受注生産する予定。
各校・園は災害時の備えや、防災教育の教材として活用する。